



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和元年6月21日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

「後悔しない走り」

校長 小川 高弘

心配された暑さもなく、運動会日和の6月1日(土)、第36回運動会を実施しました。中間考査後からの約2週間が、本格的な準備期間でしたが、雨による影響も少なく、練習を重ねることができました。朝早くからご来校いただきました来賓・地域・保護者の皆様に感謝申し上げます。

開会式では、自分の記録より1秒でも速く走ろう、隣の人より前に行こうと話をし、女子マラソンの有森裕子選手の言葉を紹介しました。有森選手は、アトランタオリンピックで銀メダル、バルセロナオリンピックで銅メダルをとった選手です。バルセロナのレース後の「自分で自分を褒めたい」という言葉は有名です。同じインタビューで言った「終わってから、何でもっとがんばれなかったのかと思うようなレースはしたくなかった。」という言葉から、今日の運動会が終わったときに、「何でもっとがんばれなかったのか」と後悔しない走りをしてくださいと伝えました。



南中の運動会は、学年別学級対抗です。勝つクラスもあれば負けるクラスもあります。競争をすれば、順位がつきます。以前、手をつないで同時にゴールする徒競走が話題になったことがありましたが、競争をして、勝った人はうれしい、負けた人は悔しいという単純な思いが後に生きてくるものだと思います。運動会などの競技を見ても、南中生は一生懸命走って、一生懸命応援していました。運動会は競技をする人だけではできません。係活動にも熱心でした。速く走ることができる人だけの運動会ではなく、実行委員の声かけやパネル係の活動も大切です。南中の運動会は、生徒・教職員全員の力を集めて行われています。終了後の生徒の顔には、やりきったという満足感があふれていました。「何でもっとがんばれなかったのか?」という後悔はなかったように感じました。人が一生懸命に取り組む姿は見ていて気持ちのよいものです。今年の運動会も、この後に続く南中の行事に期待を膨らませてくれました。



「ふれあい月間」

南中では、残念ながらいじめの報告がゼロではありません。いじめは、いじめられた人だけでなく、いじめた人も見ていた人も、今後の自分の人格形成に大きな影響を与えられています。特に、いじめを受けた人は、心に深い傷を負います。南中では、いじめられたという相談があると、いじめたと言われている人から話を聞きます。その中には、「悪気はなかった」「相手が傷付くとは思わなかった」というケースがとても多くあります。いじていることに気付いていなければ、どんなに生徒会が「いじめをなくそう」と訴えても、ゼロにはなりません。思いがけずに相手を傷付けたり、学校に行きたくないと思わせる言動が、少なからずあることを考えることができれば、いじめはさらに減らすことができます。自分の悩みを解決させるためには、大人に相談するとか、相手と直接話をするとか、解決する道はいくつかあります。南中では、東京都教育委員会の「ふれあい月間」という取組と一緒に、年に3回の「生活何でもアンケート」を行い、いじめや不登校等の未然防止・早期発見・早期解決を図っています。「明るく」「楽しく」「穏やかに」生活できる南中を目指しています。

1学期 学校ブログ

学校ホームページに、学校の様子を紹介する「学校ブログ」を開設しました。トップページ右側の「1学期学校ブログ」のボタンからお進みください。



○ 美術作品を展示

事務室前のショーケースに美術の授業で制作した生徒作品「おいしそうな食べ物」を展示しています。ご来校の折にぜひ、力作をご覧ください。



○ ボランティア活動 6月8日(土)

南中地区青少年健全育成協議会が主催した「自然セミナー」にて、小学生がさつまいも苗植え体験をする準備と補助のお手伝いをしました。生徒7名がボランティアとして参加しました。



南中生の活躍

○ハンドボール部

9・11ブロック中学校ハンドボール選手権大会

男子の部 第3位

優秀選手賞 荒井 友喜 (3年1組)

女子の部 ベスト8

優秀選手賞 熊倉 来海 (3年1組)

○女子ソフトテニス部

第93回東久留米市ソフトテニス大会

女子の部 優勝 藤澤 明星 (3年4組)・中嶋 祐里江 (3年2組)

第三位 小暮 和佳菜 (3年2組)・吉田 日和 (2年3組)

○ ワークショップに参加6月12日(水)

生徒会役員 中丸 瑞稀 (3年2組)・佐藤 凜奈 (3年4組)

「南中を代表して、ワークショップ『10年後も住みたいまち東久留米』に参加しました。市内の中学校の代表生徒が集まり、東久留米市の良い点、課題や私たち自身にもできることなど意見交換をしました。話し合いに参加して、「地域について考えようとする意識が足りない」「豊かな自然を生かし切れていない」などたくさんの課題があることが分かりました。自分たちの住んでいる町について考えることはとても良いことなので、ぜひ地域のことについて意識を傾けてみてください。」と生徒朝礼で報告しました。